

「防災特別授業を受けて」

一年二組 巽 信五

今日、ぼく達は「早大防災教育支援会」の方の授業を受けて、あつためて地震の怖さを感じました。

ぼくは、地震のとき明石に住んでいました。でも運がいいことに地震があつた日に石川県へ旅行に行つていて助かりました。もし、あの日家にいたら死んでいたかもしれません。「地震に雷火事おやじし」と言う言葉は、怖

い物順になつていて、なぜ地震が一番怖いのかという地震は対策ができません。

そ水に、地震には水をえ水も、その後の二次災害によつて多くの人が亡くなつてしまつた。

スマトラ沖地震でも多くの人が亡くなつてしまつた。阪神淡路大震災でも多くの人が亡

なつた。かを考えてみる。人々が地震に「怖い」と知らなかつたか。たかうだと思ひます。その人中

この団体は人々に本当の地震の怖さを知ら
 せていこうと、すべしと、思っています。人々が地
 震の怖さを知ることによって、地震のことを
 考え始めた。それによって、それが対策にならな
 きます。そして、この神戸でおきたような事を
 忘れないために、ほとんどの人が地震をこらな
 人たちにしる必要があると思えます。そ
 のために自分自身が地震について、こまごま
 くしる必要があると、感じました。

今日の学習では、地震に対する気持ちが高
 まったと思います。

早大防災教育支援会でのみなさん、あり
 がとうございました。